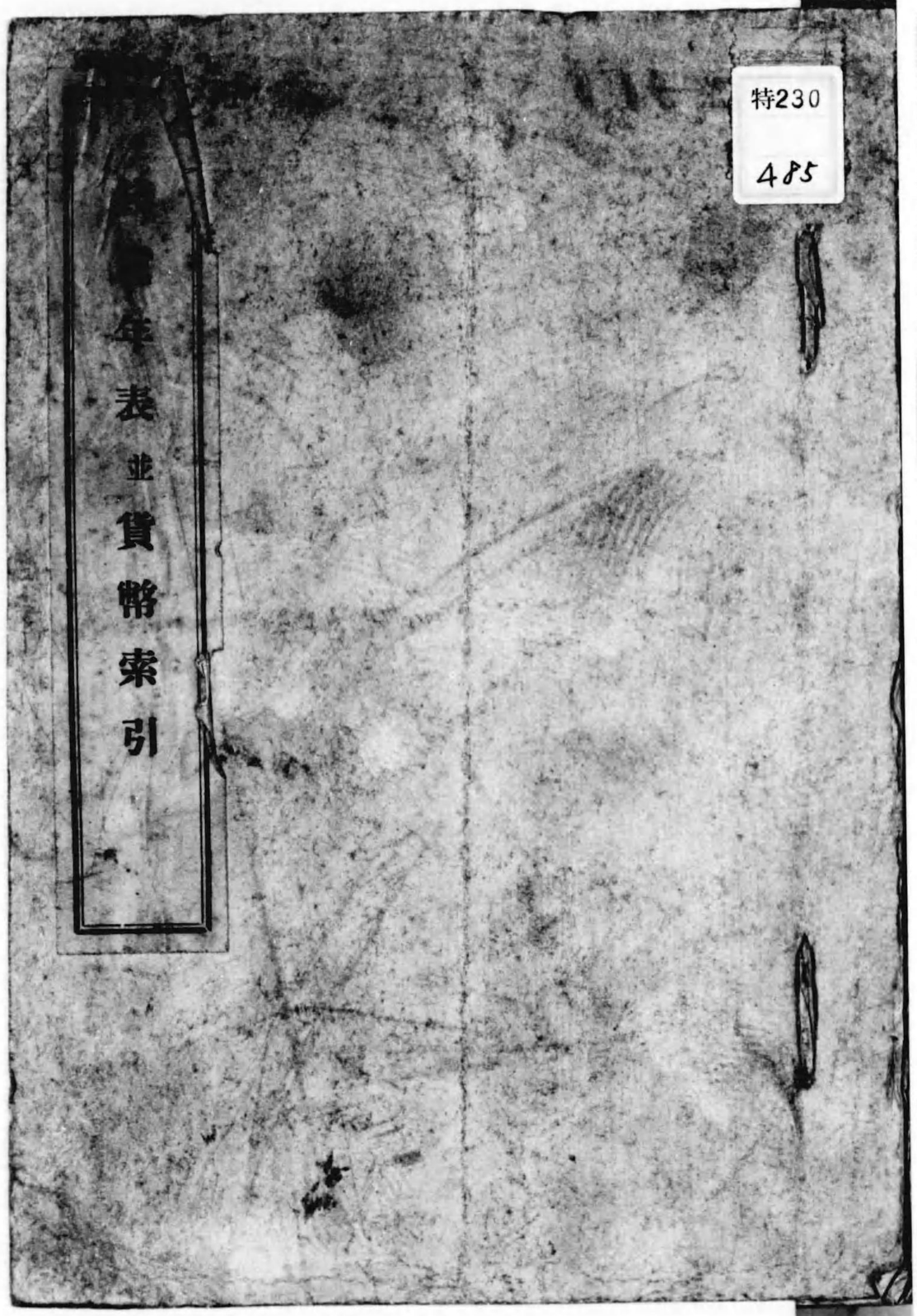

特230
485

始

特230
485

凡例

本書は東洋の錢貨年表を主とし併せて通話貨幣の索引たるの使命を有するのである

貨幣に所載の錢圖は何れも錢名の下欄に數字で號數を記して置く但明治維新後と西洋の錢貨とは同話に所載のものを限りとした

話上の論説及雜説等は別に索引を作つて項目を分けて置

誌は大正七年八月の第一號より昭和四年十二月第百二十九號迄の十一箇年間である

昭和五年四月十日

發行館主識

幣所の古代地名

上古　穂国麻野縣（アがタ）
和銅　参河国穂飫郡賀茂郷麻野里
延喜　参河国設楽郡竹生郷槻山村
建武　参河国設楽郡富永荘槻山保
慶長　三河国設楽郡枝山村

目録

年表之部

一　日本

い　古銭
ろ　試鑄銭
は　近代銭
に　近代試鑄銭
ほ　藩銭
へ　琉球銭
と　私鑄銭
ち　作品
り　繪銭
ぬ　金銀貨幣
る　藩札
を　新貨
わ　新繪銭

二　朝鮮

い　古銭

一一　一一一
三三　二二二九八八八七六六五五一一

ろ　新貨

二　支那

い　空首布　一一三
ろ　古布　一一三
は　尖足布　一一四
に　方足布　一一四
ほ　圓足布　一一四
へ　列国布　一一四
と　刀幣　一一四
ち　磬幣　一一四
り　古圓法　一一四
ぬ　古文錢　一一六
る　古錢　二一一
を　廠勝品　二一二
わ　新貨　二一二

四　島錢

五　安南

六　交趾其他

七　外國

貨幣索引之部

一　日本

い　皇朝錢　二一五
ろ　判金銀　二一五
は　天正元和間の錢　二二六
に　寛永錢　二二六
ほ　加治木錢　二二七
へ　長崎錢　二二七
と　寶永錢　二二九
ち　天保錢　二二九
り　藩錢　二二九
ぬ　琉球錢　二三〇
る　繪錢　二三〇
を　斯貨　二三〇
わ　藩札　二三一
か　諸說　二三二
　　幾種古錢　二三三

二 朝鮮 三四
三 支那 三四
四 安南 三七
五 島錢其他 三七
六 外國 三七
七 全般 三七
八 列傳 三八
九 雜說 三八
十 會規 四〇
十一 地方古錢會 四一

十二 餘興

日錄終

錢貨年表並貨幣索引

一、日本

い、古錢

名稱	鑄年	貨幣數
無文錢	顯宗帝二年	30.銀
和同開珎	和銅元年	1.文 7.10.12.13.15.三文 15.銀三文 17.20.31.毫31 33.文 33.銀 34.貫 38.三文 39.銀 39.41.銀 49.文 79.三文 63.107.118.119.121. 47.49.銀 49.貫 49.文 52.文 57.60.62.64.71.74.79.
萬年通寶	天平寶字四年	2.文 16.33.文 34.三文 41.74.111.113.119.
太平元寶	銅 銀	
開基勝寶	銅 金	33.
神功開寶	天平神護元年	文 1.文 49.71.95.115.123. 1.文 5.文 14.三文 33.34.三文 36.三文 46.47.51 46.

誤	正
二枚、江戸銭43、二文は三文	
同 仙臺一期27の下、銀を加	
四、深川十田47、は47、	
同 薩广、文久二年は慶應	
五、文久通宝、分を加	
一〇、文政一分判、自文政元年は自文政二年至同十一年	
一一、文政小判、文政十年は十一年。	
同 万延一分判 新一分自万延元年至元治元年 新二分自万延元年至明治二年	
同 貨幣同二分判自明治元年至同二年	
一二、新絵兎名錢の下、一鐐時、一貨幣号数一を加。	
一三、神東宝、38、四文を加	
一四、分両10、は11、	
一五、五銖6、は16、	
同 雑鋳五銖、又68、を和	
一六、天成元宝76、は70、	
一七、大觀通宝当三、12、16、を加	
一八、正隆元宝三文、は二文	
一九、致和元宝、5、を加	
同 天啓通宝、36、を加	
二〇、興朝通宝、16、は116、	
同 天国聖宝当十、24、を加	
二三、平南通宝一行を削る	
二四、鄭寧元宝72、は42、	
二六、日本最初の通貨14、は74、	
二七表、一八行古金の下、銀を加	
三一、甲府の札94、を加	
三二、我の呼び名79、を加	
三三、富山焼けに就て125、は105、	
同 表十一行の次 古変型印の流行	
三四、古渡常平105、は115、108、を挿入	

| | | |

| | | |

足尾銅山	寛保元年	31.	60.	92.														
滝戸銅山	明和二年	12.	62.	93.	92.													
長崎銅山	明和四年	17.																
伏見銅山	同																	
久慈銅山	明和五年	29.	127. 金															
仙臺銅山	同	16.	52. 四匁	54. 三文	71.													
佐渡銅山	明和八年	7.	5. 三文	64. 74. 三文	92.													
久慈銅山	安永三年	29	29															
仙臺銅山	天明四年																	
高巻銅山	文政頃	4. 三文	34.															
深川(久右衛門)	天保六年	22. 47. 鉄																
仙臺銅山	天保九年																	
小菅銅山	安政六年	33. 三文	75. 二文															
高巻銅山	万延元年頃	4. 三文	14.	103.														
仙臺銅山	万延元年	12. 銭	14.	14. 37. 三文	54.													
阿仁銅山	文久二年	87.																

佐渡銅山	同	7.	8. 銭	34. 銭	75. 銭													
赤村銅山	慶應元年	47. 銭	47.	47. 銭	銭													
水戸銅山	同	12. 三文	23	23 三文	24. 四匁	69.	111.											
常四銭																		
深川(十四)銅山	明和五年	3 匁	12. 三文	47.	60.	75. 三文	79. 三文	87.	107.	107.	121.							
秋田銅山	明和八年頃																	
藤田銅山	文政四年	103.	107.															
同	安政六年	11.	66.	77. 三文														
深川(久右衛門)	同	12.	47.	73.	117.													
仙臺銅山	文久元年	1.	18.															
水戸銅山	同	25. 三文	31. 四匁	125.	127.													
安藝銅山	慶應元年	26. 三文																
藤堂銅山	同	51.	58.	83. 三文	104.	118.												
會津銅山	同	19.	73.	121.	125.													
水戸銅山	同	6.	10.	18.	34. 三文	127.												
水戸銅山	同	18. 三文	25.	75.	76.													

| | | |

| | | |

名	年	産物	産高	名	年	産物	産高
仙台領	天明四年	鉛	1.7.16.75.	加賀領	寛政三年	銅	三百三十五
同	同	銀	7.7.	同	同	鉛	1.2.24.
同	同	銅	7.7.100.	同	同	鉄	1.7.100.
同	同	鉄	1.7.100.	同	同	金	3.7.10.16.
同	同	金	3.7.10.16.	同	同	銀	7.7.70.10.
同	同	銀	7.7.70.10.	同	同	銅	三百五十
同	同	鉛	1.2.24.	同	同	鉛	1.2.24.
同	同	鉄	1.7.100.	同	同	鉄	1.7.100.
同	同	金	3.7.10.16.	同	同	金	3.7.10.16.
同	同	銀	7.7.70.10.	同	同	銀	7.7.70.10.
同	同	銅	三百五十

富山通寶	文久頃	18、		富山
佐渡金山	元文五年			佐渡座
阿州通寶	文久頃	十文		德島
土佐通寶	慶應二年	當百 當二百	90、	
土佐官銭	同	五文 十文		土佐
土佐之銭	同	五文 十文		
海南之銭	同	五分、一文目、二文目、五文目、十文目、13、當銭		
筑前通寶	文久頃	5、		福岡
元亨利貞	慶應三年	7、		
半朱銭	同	10、		平戸
箱館通寶	安政三年	21、28、四文	分、五文	93、
鉛切手銭	文久三年	鷲傳 五四文 15、20、越後 上鉛四文 十文ト	78、上鉛十文 代廿四文分	16、78、

琉球銭

名稱	始鑄年	貨幣號數
封印銭	慶永頃	

天世通寶	享德二年	3、13、41、五文	54、124、
世高通寶	寛正二年	12、22、40、三文	54、107、三文
金圓世寶	不詳	10、84、	
中山通寶	同		
琉球通寶	文久二年	當百	15、115、120、

と 渡、私鑄銭

神功開寶	1、	寛永通寶	49、19、73、75、81、85、二文
德元寶	3、	祥符通寶	57、63、
正隆元寶	55、	大定通寶	67、銭 126、
		元符通寶	29、
		政和通寶	34、銭 71、
		永樂通寶	19、20、28、

ち 作品

和同開珎	16、	寛永通寶	76、113、114、
69、	臺場通宝	3、5、	安民宝 15、
慶應通寶	1、	明治通寶	1、
州計開宝	67、	五銖	30、
軌元宝寶	109、	嘉定通寶	93、
貞祐通寶	93、	天啓元寶	93、
隆武通寶	112、	永曆通寶	16、
通禧			

切銀 16、 型物通寶、 八文銀判

| | | |

鏡屋錢 戒118、 大黒118、
五位堂錢 兜105、

慶長、金銀貨幣

名稱	鑄造年限	數量
經藻金小判	定判時代	、、
文祿御公用銀	文祿年間	3、18、69、
小天又銀	同	89、
天正 大判	自天正八年	29、30、
小判	一	5、小集2、69、
一両銀判	至同十六年	11、71、
一分銀		10、11、18、22、
慶長 大判	自慶長六年	2、16、30、
小判		51、60、69、
一分判		60、67、68二枚113、
丁銀	至元祿八年	21、34、
豆板銀		
元祿 大判	自元祿八年至享保元年	23、
小判	自元祿八年至宝永七年	
一分判		
二朱金	自元祿十年至宝永七年	
丁銀	自元祿八年至宝永三年	26、
豆板銀		
寶永 丁銀	自宝永三年至同七年	二ツ宝 35、
豆板銀		
丁銀	宝永七年三月中	永字 14、35、
豆板銀		
丁銀	自宝永七年至正德元年	三ツ宝
豆板銀		
小判	自宝永七年至正德四年	乾字
一分判		
小判	正德四年中	式藏小判12、

正德	一分判	同		
	丁銀	自正德元年 至同二年	四ツ宝	
	豆板銀			
享保	丁銀	自正德四年 至享保廿一年	36.	
	豆板銀		27.	
	小判	自享保元年 至元文元年		
	一分判			
	大判	自享保十年 至天保八年	33.	
元文	小判	自元文元年 至文政元年	眞文	24. 25. 60. 66. 69. 二枚
	一分判			
	丁銀		文字 27.	
	豆板銀			
明和	五匁銀	自明和二年 至安永元年	9. 33.	手本金 36.
	南鐐二朱	自明和九年 至文政七年	42. 三枚 99.	手本金 37.
	二分判	自文政元年 至同十一年	眞文	
	一分判	文政元年	草文	
文政	小判	自文政二年 至同十年	草文 27. 29. 69.	手本金 38.
	丁銀	自文政三年 至天保八年	草文 85.	
	豆板銀			
	一朱金	自文政七年 至天保三年		手本金 37.
	南鐐二朱	自文政七年 至天保元年		
	二分判	自文政十一年 至天保三年		
	一朱銀	自文政十二年 至天保八年	分銅銀	見本金 47.
	二朱判	自天保三年 至安政五年		
	大判	自天保八年 至万延元年	19.	
	五両判	自天保八年 至同十四年		見本金 41.
天保	小判	自天保八年 至安政五年	25. 26.	見本金 41.
	一分判			
	丁銀		保字 2. 105. 81.	
	豆板銀			
	一分銀	自天保八年 至安政元年		
	一朱銀	自安政元年 至慶應元年		

ゲ。小泉から猪俣峠へ。

ろ 潮岸村。

潮岸村。

は 橋岸村。

橋岸村。

に 西野原村。

西野原村。

ほ 鳴沢村。

鳴沢村。

へ 瀬上村。

瀬上村。

と 富士吉田市。

富士吉田市。

ち 新倉村。

新倉村。

り 河口村。

河口村。

ぬ 船津村。

船津村。

る 古屋村。

古屋村。

を 上九一色村。

上九一色村。

わ 西八代郡。

西八代郡。

か 市川大門村。

市川大門村。

よ 鰍沢町。

鰍沢町。

た 身延村。

身延村。

れ 下山村。

下山村。

そ 富士川村。

富士川村。

つ 鰍沢町。

鰍沢町。

ね 佐野村。

佐野村。

な 波高島村。

波高島村。

ら 下部村。

下部村。

む 中富村。

中富村。

う 上九一色村。

上九一色村。

ゐ 西八代郡。

西八代郡。

の 市川大門村。

市川大門村。

お 鰍沢町。

鰍沢町。

く 身延村。

身延村。

や 下山村。

下山村。

ま 富士川村。

富士川村。

け 佐野村。

佐野村。

ふ 波高島村。

波高島村。

こ 下部村。

下部村。

え 中富村。

中富村。

て 上九一色村。

上九一色村。

あ 西八代郡。

西八代郡。

さ 市川大門村。

市川大門村。

き 鰍沢町。

鰍沢町。

ゆ 身延村。

身延村。

め 下山村。

下山村。

み 富士川村。

富士川村。

し 佐野村。

佐野村。

ゑ 波高島村。

波高島村。

ひ 下部村。

下部村。

も 中富村。

中富村。

せ 上九一色村。

上九一色村。

す 西八代郡。

西八代郡。

ん 市川大門村。

市川大門村。

ず 鰍沢町。

鰍沢町。

と 身延村。

身延村。

ん 下山村。

下山村。

ぼ 富士川村。

富士川村。

う 佐野村。

佐野村。

ち 波高島村。

波高島村。

ん 下部村。

下部村。

ば 中富村。

中富村。

ん 上九一色村。

上九一色村。

ば 西八代郡。

西八代郡。

ん 市川大門村。

市川大門村。

ば 鰍沢町。

鰍沢町。

ん 身延村。

身延村。

ば 下山村。

下山村。

ん 富士川村。

富士川村。

ば 佐野村。

佐野村。

ん 波高島村。

波高島村。

ば 下部村。

下部村。

ん 中富村。

中富村。

ば 上九一色村。

上九一色村。

ん 西八代郡。

西八代郡。

ば 市川大門村。

市川大門村。

ん 鰍沢町。

鰍沢町。

ば 身延村。

身延村。

ん 下山村。

下山村。

ば 富士川村。

富士川村。

ん 佐野村。

佐野村。

**ば

盛岡21。越前 福井36。加州 金沢102。大聖寺106。播州 福本15。竜野76。防長州51。萩51。長。丹波 柏原78。
対州12。木札。島田切手16、43。弥彦世五文24。

古錢

明治二年一錢銅貨15、77。同年一錢銅貨21。十八年二重銅貨22。大正七年試銀貨62。同年銀貨102。

附酒保使用切手2。

新貨

貨幣所載ニ限ル

明治三年一圓銀貨77。明治三年一重銅貨53。明治十年一重銅貨62。同年銀貨62。同

新繪錢

名	製	年	貨幣号数
富士登山紀念	明治四十年		123、83、75、107
加藤寶	大正八九年頃		
福室念佛	大正初年頃		
造幣局上棟	昭和三年		

繪錢、安國大珠の図に挿入

名	製	年	貨幣号数
上棟通寶	天明四年本願寺		
棒桑上棟	慶應三年材木公儀宮		

二、朝鮮

い、古錢

名	製	年	貨幣号数
無文錢	高麗	成宗十五年	95、
開元通寶	同	仁宗五年	97
乾元重寶	同		22、
東國重寶	同	穆宗五年	
東國通寶	同	肅宗二年	10、32 衆1、77、102。当三錢。
三韓通寶	同		12、崔1、95、102、三韓115、115、115、115、115、102
三韓重寶	同		7、102
海東通寶	同		22、衆1、37
海東元寶	同		
海東重寶	同		90 12文
朝鮮通寶	朝鮮	世宗十五年	12、14、14、95、95、102、102。当十。20、102
十錢通寶	同	正宗十七年	3、102
常平通寶	同		
仁祖十一年	同		
常平通寶	同		7、13、95、95、102、変。当二、24、24、60、95、変、95、変、95、変、96、変、17、変、98、変、95、変、100、変、101、変、102、変、102、変、102

八、利根郡

沼田町

沼田は、上州利根郡の中心地で、人口一万二千余を有する。

沼田町の沿革

沼田は、戦国時代に、真田氏の城下として、発展した。

沼田の人口

沼田の人口は、明治三十年頃、一万二千余であつた。

沼田の産業

沼田は、蚕糸業が盛んで、桑園が、一面に、広がつてゐる。

沼田の交通

沼田は、上毛電鉄の、終点である。

沼田の名所

沼田の名所は、城址、公園、及び、利根川の、渓谷である。

沼田の特産

沼田の特産は、蚕糸、及び、こんにやくである。

沼田の将来

沼田は、将来、ますます、発展する、ことが、期待される。

郡名	市町村名	人口	面積	戸数	産業	特産	備考
利根郡	沼田町	一二千	一二平方キロ	三千	蚕糸業	蚕糸、こんにやく	
利根郡	月夜野村	三千	一五平方キロ	七百	農業	米、麦	
利根郡	水上町	二千	一〇平方キロ	五百	林業	木材	
利根郡	湯檜曲村	一千	八平方キロ	三百	観光	温泉	
利根郡	新治村	一千	一二平方キロ	三百	農業	米、麦	
利根郡	川場村	二千	一五平方キロ	五百	農業	米、麦	
利根郡	白沢村	一千	一〇平方キロ	三百	農業	米、麦	
利根郡	月夜野村	三千	一五平方キロ	七百	農業	米、麦	
利根郡	水上町	二千	一〇平方キロ	五百	林業	木材	
利根郡	湯檜曲村	一千	八平方キロ	三百	観光	温泉	
利根郡	新治村	一千	一二平方キロ	三百	農業	米、麦	
利根郡	川場村	二千	一五平方キロ	五百	農業	米、麦	
利根郡	白沢村	一千	一〇平方キロ	三百	農業	米、麦	

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

| | | |

[illegible]

四・島錢

名稱	時代	貨幣數
開元通寶	唐	一文・二文・
乾元重寶	唐	一文・二文・

| | | |

| | | |

宣德通寶	不詳	97	周元通寶	不詳	
隆慶通寶	同		唐開通寶	同	
泰昌通寶	同		一寶	同	
天啓通寶	同	30.	元寶	同	5.
永昌通寶	同		咸平通寶	同	
寛永通寶	同	95 97	淳化元寶	同	88.
治元通寶	儀		至道元寶	同	86.
元隆通寶	儀文雲	1.	景德元寶	同	53 126.
弘光通寶	同	97	天禧通寶	同	44
隆德通寶	不詳		乾祐平寶	同	
開運通寶	同		元祐通寶	同	126
政和通寶	同	48. 83. 70. 125	大安通寶	同	66.
紹治通寶	紹治年間		元符通寶	同	
紹宋元寶	不詳		端平元寶	同	
紹元通寶	同		至元通寶	同	82.
嗣德通寶	嗣德年間	102.	景祐通寶	同	
嗣德寶鈔	同	97 六文 二文 一文 三文 二文 一文 三文	崇明通寶	同	
嗣統通寶	不詳	16.	利用通寶	同	
乾元通寶	同		昭武通寶	同	
咸元通寶	同		洪化通寶	同	
咸元聖寶	同		無文錢	同	15.

咸宜通寶	咸宜帝	72.	啓定通寶	維新十年	44 72.
同慶通寶	同慶帝	72. 三文	大中聖寶	不詳	40.
成泰通寶	成泰帝	十文。 15. 72. 三文	六百分之一通寶	一九〇五年	108.
維新通寶	維新帝	72.			

備考 開國通寶は天成元年、順天大寶の次に。太平通寶は景統通寶の次に。天順通寶は天順年間、天符通寶の次に。大德通寶は院明智、嘉泰通寶の次に。宣德通寶は宣德王、平安通寶の次に、列すべしとの說あり。

六、交趾其他

交趾。光中通宝	2.	貨幣所載
七哇。バンタン錢	10. 25.	一ゴボック 15.
サイバン島鉛錢	2. 18.	

以上は東洋形有孔錢を主とし以下は西洋式円錢なり。

七、外國

北律賓。75、
新嘉坡北部酋長国。バアハン帽形銭 76、
暹羅。8、61、
海峡殖民地。74、三文
印度。14、16、三文31、74、三文 和蘭領 8、
西北利亜。革製貨98、
埃及。69、74、
英領東亜弗利加。8、
英吉利。11、2三文37、73、三文78、三文82、三文84、三文85、
佛蘭西。8、33、三文65、三文74、三文75、三文83、三文84、85、三文85、三文
白耳義。8、69、三文75、三文
西班牙。51、57、
葡萄牙。29、
伊太利。15、18、三文40、46、三文52、三文
和蘭。
丁抹。19、
露西亜。79、三文80、
伊太利。69、
羅馬尼。8、19、17、69、
希臘。15、三文61、
北米合衆国。4、42、43、44、
墨西哥。3、44、81、
南米ボルビヤ。74、
濠洲。74、

一、日本

い 皇朝銭
日本最古の貨幣を論じ和同開珎等の新古に及ぶ 28、29、30、31、32、33、34、
日本最初の通貨 19、
和同開珎に就て 26、32、36、37、
和同開珎に就てを読みて所見を述ぶ 28、30、
和同開珎考 21、
長府鋳銭司遺跡発掘記 31、36、37、
和同銭型展覧会に於ける口演筆記 35、36、37、
和同銭覧 38、
加茂本郷の鋳銭司遺蹟の碑銘 41、
本朝古代銭の製作上に於ける特点 41、
和同銭の実物上に於ける年代別 42、
和同銭の論説に就て 42、
和同銭に関する考察を貴す 43、
泥范即ち砂范とは如何なるものなりや 43、
處分の字義に就て 43、
和銭泥范 43、

数字は号数

鉛槧說に關する疑点 64.
和同銭を鑄造したといふ田中家の古文書 64.
近江國和同萬年神功發掘遺跡の調査 65.66.76.
和同萬年神功發掘銭から見た埋没時代 75.75.
皇朝銭の初鑄大概銭に就て 76.
國防鑄銭司遺跡調査記 81.87
岡文の祖は和同銀銭 91.
京都府加茂町に鑄銭遺跡碑 120.121
和同の古跡及び和銅献納と和同銭鑄造との關係に就て 122.
開基勝寶に就て 124
不力神功の鑑別法に就て 124
長刀神功 46.48.
山口神功 76.
長資神功 112.
淡賀宮跡より隆平及富壽を發見 112.

ろ、判金銀

本邦の古金銀貨幣に就て 2.3.
慶長大判に就ての私考 2.
慶長、享保、宝永豆板銀の鑑別 4.
盛岡八匁銀判に就て 7.
加賀花降銀判の事 7.
金銀貨昔話 10.
大日本貨幣史の圖に就て 11.
古金銀貨の贋造品に就て 14.16.
盛岡八匁銀判偽造事実 19.
七福小判の世説 25.26.27.27.
久長小判 27.
金座印章及包裝紙押捺印説明 37
慶長秤銀の切り遣ひ 39
幕末に於ける金銀賣買 40.
古金銀の偽作に就て 58.
教科書と貨幣の智識 62.
元文佐渡小判 66.
慶長一歩判片本字と両本字に就て 67.
佐渡の貨幣 68.69.70.
偽造の八匁銀判 69.
一朱銀と一分銀の型 78.
古金貨幣の寸法 83.
加賀藩に於ける貨幣の沿革 86.
山口天文銀の研究 89
寛政吹増南鐐二朱判の研究 91.92.

前葉表紙行の次に左記挿入
富壽神寶の大別 1.

甲州金の古名 100.
小判壱分判の光次の字 100.
十二大黒丁銀及両面大黒小玉銀の由來 106.
寛永時代の換銀に就て 107.
小判を偽造 112.
銀座敷探りの大黒銀像といふものに就て 113.
金の小粒の事 118.
手本金の研究文献 125.

打製金銀は、天正元和間の銭
永楽銭の研究 67.
豊臣期の永楽銅銭 72.
豊臣期の永楽金銭 73.
久能山の金銭に就て 88.
天正時代の銀銭に就て 127.
元和銭の鋳造年度を問ふ 42.

に、寛永銭
寛永母銭子銭の區別 2.
寛永銭の銭文に就て 18.
寛永十三年鋳造銭の研究 20.
21.

寛永背斧銭の鋳造年代 24.25.26.27.28.
寛永十四年長門国に於ける鋳銭地の調査報告 27.28.
常陸国に於ける鋳銭座の調査報告 26.
寛永浅草銭座に就て 29.30.31.
寛永年間に浅草座の存せしや否やに就て 32.
寛永十三年に就て 32.
鳴海平蔵の書上の研究 32.33.34.35.36.
荻鋳銭関係地荻銭屋町探取鑄澤分析表 48.
柳齋太字 49.
寛永銭を鑄造せし松本藩主の研究 70.
駿河国の鋳銭 64.65.68.
駿河の古鋳銭記 101.
寛永銭私考 81.82.83.84.85.86.88.91.94.95.98.99.100.101.104.105.106.107.108.
永慶寺建御用銭の撰定 60.
永慶寺裡御用銭の傍證 89.
文銭異聞 104.
耳白銭の研究 38.
寛永丸屋座銭の研究 89.
錫種銭の研究 76.
戯寛永に就て 90.
佐渡銭の研究 4.7.8.

明治三年佐渡奉行所印鑄錢
同同同

ほ、加治木錢　長崎錢・鐵錢
加治木錢に就て　6、
加治木錢に就て　11、
長崎元豐のこと　80、
鐵錢類の研究　13、

へ、寶永錢・銀代錢
寶永錢の筆者に就て　25、
銀代通寶に就て　28、
銀代通寶背壹分錢　42、
銀代通寶の差異

と、天保錢
天保錢の筆者大西喜作　1、
慶應年中赤児島稲荷座にて薩摩天保鑄造　2、
天保百文錢の研究　11、12、間13、
天保百文錢を稟議錢といふ事に就て　14、
天保百文判は稟議錢なり　15、
盛岡地方鑄造の天保錢に就て　10、
天保座試鑄錢の淳祐当百　25、
佐渡天保鑄造地の發見　78、

天保錢形の萬年　117、
無穿天保　101、

ち、藩錢
破車鞋、盛岡銅山錢及栗毋、同鑄造工場　8、
同銅山錢鑄造の第一期、銅山錢の仕上、同極印、同鑄造の二期　5、
同銅山錢鑄造の三期、同鑄造期間及其出錢、同鑄造廃止　11、
同盛岡錢山内通用期間、通用廃止後の銅山錢、大黒錢及び虎錢　12、
文久貨泉　大
同鐵錢の圖案　76、
鐵錢の種別　87、
箱館通寶の銅錢に就て　25、
米沢の鉛錢　116、

り、琉球錢
琉球通寶の鑄造場所　2、
琉球の錢價　102、
琉球地目錢封印錢に就て　75、
琉球の丁銀　101、
金圓世寶の説　76、77、問79、84、85、90、102、126、

| | | |

近江 徳川 徳川氏 古文書 藤井貞幹 貨幣 貨幣 貨幣

泉譜正合品の特徴 96、
日本で始めて出来た銀行 97、
経済史料校華 97、
楊粤の邊近 96、
歴史家の鉄銭に関する説に就て 63、
匹の数と價 70、
銭の呼び名 77、答 78、80、ヨリ 124、マデ 124、ヨリ 125、マデ
銀を朱提といふわけ 78、
制札に見はれたる賞銀 77、80、81、
租税の請求 80、
長崎博覧會と貨幣 80、
銭の相場 81、90、
貨幣取調書 83、
金銭圖録に就て 84、
博士に乏しき銭貨の智識 84、
空前の大取銭 92、
両替屋は昔の銀行 94、95、
鉄の價造銭 94、
貿易銀の一般無制限通用布告に対する内外新聞の論評 96、97、98、ヨリ 105、マデ
永乗銭知行、撰銭 98、
銭貨の論に就て 102、

風山軒今井翁の手紙 102、ヨリ 110、マデ 112、ヨリ 127、マデ
明治泉譜三集位階の正誤 104、
皇朝論泉絶句 104、106、107、109、110、112、113、114、
富山焼けに就て 125、
俗書に書かれた銭の事 105、
孔方私記 105、
阿北齊遊洛記抜萃（享保中、古銭家の順遊） 106、107
銭屋五兵衛の財産没收目録 106、
御大典記念貨幣発行の議 107、108、
匹といふに就て 108、109、
雑書雑覧（天保頃の大御番を勤めし人の書、金座の事） 108、109、111、
抜出した珍品 108、
金銀圖録の異同に就て 109、
贋作手鑑 109、ヨリ 122、マデ 122、
銭貨譚論の著者に就て 110、
銅の話 110、
金銀圖録警戒資料 111、
明治初年の東京日々新聞に於ける貨幣関係記事に就て 111、112、113、114、
柳北と古泉の詩 111、
制札に見はれた貨銀 112、
天武帝の朝の銀銭、両蘭陀の銭、東坡詩話 115、

墨拓の話 115、
永戔に就て 118、
永何貫の知行といい小事 118、
小田原北条の分限帳 119、
思ひ出せるまゝ（寛永戔の價格の事、古泉家故人錄の事、名古屋古泉家 119、120、121、122、123、
故人錄の事、和同戔貨樞の事、古泉大全出版部敎の事、） 120、
風山軒藏泉の行くへ 121、
髮結ひ一戔職の事 121、
讀書漫抄（本田南敵の記、安永文化記、元朝に銅を送る、文字金、伊丹古戔） 122、123、124、
資料雜錄（高津新地戔座、金銀吹替） 123、125、

か、發掘古戔
筑後国八女郡北山村 57、
伊勢国飯南郡神戸村 18、
柳井津の惠文寺 31、
下野国下都賀郡皆川村 47、
出羽賀縣沖ノ島の沈没戔 51、
越後国北魚沼郡城川村 59、
熊本縣麻本郡山麻町 58、
瀬田川掘に就て 59、

博多聖福寺の金銀發掘 76、
茨城縣多賀郡松原町 79、
山形縣西田川村上郷村 81、
石刀か石貨か、青森縣東津軽郡三厩村 82、
古戔の掘出 85、
湯浅掘の神功 85、
答志沖、海宮の宝 85、
奈良にて宝玉古戔を掘出す 103、

宇治山田市の発掘戔調査報告 114、
田丸の旧城跡から古戔 116、
田丸町発掘地探檢報告 117、
日本橋で壹の中の古金銀 118、118、
大判小判の甕を掘出す 118、
神田屋敷跡に小判がザク 118、
埼玉縣北葛飾郡上高野村 117、
香川縣三豊郡財田村 120、

壁の中から古金銀二万円現はる、和歌山縣那賀郡南野上村 125、
土藏の下から大判小判、秋田縣北秋田郡米内沢町 126、
臺灣近海より引揚げられたる古戔 127、127、
麻児島縣布志町岩礁一面に一重戔 127、
備前牛窓港発掘戔報告 129、

二、朝鮮

玄機通寶の銘ある鏡 101、
朝鮮通寶と十錢通寶の鑄造年代 16、
常平戔鑄地考 2、
常平通寶の木型 31、
古渡常平 43、ヨリ 105、ヨリ 118、 117、
常平通寶に就て 103、105、
銀戔三韓通寶に就きて 102、
韓国金貨表 79、
李朝中世に於ける鑄貨当時の事情 98、
五分銅貨の種類 98、106、

[illegible] 古布 [illegible] 北到扶餘 扶餘 [illegible] 後漢 [illegible] 古布 [illegible] 同布 [illegible] 陵 [illegible] 古布 [illegible] 文字 [illegible] 文字 [illegible] 文字

東部見字記石　范七二訂つて　冶鑄鋳工鋳小五鉄
野まて竹　竹竹すす竹　二次　竹竹28地の研究
范圍73　間竹3　竹　竹
字閑字種文　別　71
…

古まを眼で見たる管子書　度量衡
永安錢　永安錢
永安錢　永安錢
永安錢　永安錢

開通元寶に擬りて直接に改められた 109
諸錢 97、
開元背文錢 68、
佛武三武の厄 100
四庫書を信ずべし 40
天策府寶 76、
蜀錢考 82、84
通行泉貨は遼末にはあらざるべし 40、
宋通元寶錢考 77
西夏國書錢の讀法 98、81、83、
宣和通寶の御書錢 116、77
紹興元寶 112、113
淵字小字の紹興元寶に就て 112、113
崇慶元寶之錢寶 109
嘉定通寶 77
禁中の嘉定 97
胡元の通貨に就て 97、97
大朝錢のいささつ 97
元朝の錢に順讀のものなし 97
天佑通寶 77
元末群雄の素性 116、
龍鳳当三の鼻寶を定むる約束の事 109
徐壽輝の天啓当三に就て 97
大中通寶 77
洪武錢のいろ〳〵 97、98、99、84、85、86、76
78、79、80、81、82、86、87、90、95、96、
正德通寶の金錢 99
裕民錢換当に就て 14
清朝錢背文之研究 28
滿文錢の讀方 94
滿文錢の讀法に就て 127
順治通寶背文 38、40、41、42、
大明通寶 77
弘光通寶、永曆通寶 40、閩 99、容 99、
嘉慶吉詰錢に就て 126、
咸豐大錢攷 99、91、92、95、96、97
洪秀全錢略說 62、ヨリ 66、マデ 71、
熱祥錢の背文に就て 60、
突騎施錢 91
回鶻錢 93
喇嘛教徒の厭勝品に就て 93
喇嘛錢の兄文に就て 85

四教文字ある錢貨を讀む 93、
佛教の兄文の蛇足 70、
葬事品、鄉錢、鐵錢、宮廷及内侍賞品、鄉錢 93、
支那旧銅貨幣の中央文字に就て 20
吉林の西貨幣 93
吉林省造十文銅貨 100
香港一文及一仙の品類に就て 124、
香港小銀貨の品類 109、
宣統三年製造の貨幣 1
嘉永に就て 115、

四、安南

宣德通寶 8、
宣德通寶と大德通寶 11、
含利錢の金質に就て 25、
天符元寶 24、

五、島錢其他

培風室叢話 44、93、94、95、46、47、48、60、61、62、
65、67、68、
校合刷の孔方 96、
古泉家の無学無識に就て 111、112、113、
百錢目錄 122、
支那に於ける有孔銅錢の貨率 42、
現大洋券、奉票 98
銅元買收命令、其他 95、
支那の魔除けと錢 60
滿洲及西比利亞地方に於ける通貨說 109
明書 109

安南錢類の翻訳 99
大和通寶 77
開泰元寶、天應通寶の二錢は遼錢に非ず安南錢なる事 109

島貨の考察が山東から 76、
南洋パラセル群島の古貨 23

六、外國

外国貨幣の研究 3、6、8、11、16、17、19、
イリノイズ州建設百年記念銀貨 4、
外国貨幣研究の参考書 21
外国貨幣の表裏 23
米国弁護士の古貨家に就て 19
米国貨幣協會の開會 46、
世界戰爭と貨幣 46、47、49

七、全般

各国貨幣單位及價格表 20、21、
貝貨に就て 23、開 25、24 答 26、開 29
国際通貨發行 27
古泉大全の事共 33、34、
極東に於ける古泉家に警告す 35、
流児島に就て 44、

泉譜正合品の特徴 46、
貨幣專門の年表のこと 54、
貝貨の新研究 66
貨幣学上より見たる通貨貝の和名に就て 69
古貨家の附けたる貨の特殊名稱 73、

外国貨幣の俗解 73、74、75、
女は女の貨幣。男は男の貨幣 78、
日本造幣局製ロシヤ貨幣 79
粗逸造幣局製西亜貨幣 80、79
海外・幣小譜序 104
飛行記念貨幣 108、

宇都宮俊良傳 37
宇都宮壽綱翁傳 44
主事薗田信一氏の泉歴 44
月谷と大村成富 63
高尾嘉左衛門の事ども 64
對泉譜の著者文樓田元成 68、69
溫古堂塚本君の略傳 70、
千金堂長良顧齋 74、
金山奉行大久保石見守の事ども 76、
有雀堂永田羅道 77
辻不朽庵 80、
成島柳北傳 44、53、55、58、
高陵さっの遺事 58、59、
其面影 58、59、

風山軒今井貞吉 97、
宝丹樓守田治兵衛 97、
柳北傳に就て一言 100、100、
養真亭馬島瑞園 101、
叢柏居岡田村雄 102、102、
千足軒鬼頭久吉 103
初代宝泉舎薗田信詮 104
好泉堂横井仲定 105、
孰鯰堂新井孰九 106、
二世泉貨堂中島孝次郎 106、107、
春布庵中川近齋 108、107、110、
二世叢柏居のことども 116、111、107

大阪の雜誌古貨の記事を読みて 3、
岡田八目 3、答 3、5、

小藤田相模守殿ヨリ拾万石の内ヲ以て新田開発仕候ハ
ゝ其分ハ公儀へ上納仕候様ニ被仰付

[illegible]
[illegible]
[illegible]

十、會規

會規。會長林静男、評議員甲賀宜政、本山彦一、理事田中啓文、藤井栄三郎、新井七三郎、三上香哉　1、

會規の一部改正　2、

林翁に特に名誉の編を捧ぐ　7、

會長本山彦一、副會長甲賀宜政　7、

本誌発行の月次　7、

古銭古金銀の鑑定に應ず　7、

地方在住の會員に告ぐ　10、

事務所を大崎町林方に変更　13、

全国大会臨時会を大阪に開く　15、

會長田中啓文、副會長藤井栄三郎に交迭、理事に原田氏を煩す　15、

會員名簿　22、23、24、

事務所を深川藤井方に変更。會費改正　24、

事務所を平塚村田中方に変更。編纂方に就て　44、

會員名簿　44、

創會々場万文堂の所在地図　62、

會員名簿　68、

本協會への通信は單に東洋貨幣協會御中とすること　76、

會員名簿　80、

平塚村を町と改称　86、

會員名簿　93、

甲賀博士副會長辞任　94、

平塚町を花原町と改称　100、

會員名簿　105、

專務理事三上香哉辞任、発行兼編輯者は田中讓と変更　114、

會費の領収は紙上に報告して領収書は発せず　115、

會員名簿　116、

十一、地方古錢會

会員名簿　109

岩手古泉会　3、5、11、

大阪古泉会　5、12、

高知古泉会　5、

いづも会　5、

九州古泉大会　10、20、11、

豊橋古泉会　16、

姫路帝泉会　16、

岡山黄微古泉会　16、

神戸古銭研究会　20、

京都平安古泉会　24、

関西古泉会を大阪に開く　24、

本山松陰氏方の和同銭型發掘披露会　33、

須磨帝国絵銭協会　44、

北東日支古泉大会　34、

大阪古泉及古泉書展覽会　44、

東京、鋼の林の会　44、

東京泉会　44、

大阪、甲賀邸古銭会　50、

香川、古泉展覽会　57、

静岡、東海古泉会　67、

中京古泉会　68、

大阪大毎梅上、万国貨幣大会　67、

神戸、万国貨幣協会　71、

岡山、島城古泉会　71、

姫山泉談会　73、

加越能史談会　74、

福岡、古今貨幣展覽会　91、

廣港貨幣研究会　92、

支那古泉学社　92、

肥後泉談会　96、

楊鳴谷氏歓迎古泉会　93、

京都古泉交換会　96、

大阪、通貨に關する展覽会　97

327
170

二世泉貨堂遺愽古泉会 100、
林紀治堂翁隱退紀念古泉会 100、
奬泉会の解散 100、
金沢古戔展覽会 101、
趣味蒐集品展覽会 102、
東京三越、造幣局作業展覽会 108、
115、
黄徳古泉会誌第五十号紀念古戔会 116、
名古屋泉談会 119、
名古屋、貨幣に関する展覽会 122、
京東、拓本交換会 124、

十二、餘興

川柳 1、6、7、
はうた 3、
大津絵 4、
新作落語、古戔家の出養生 22、
洋詩 22、
川柳かねの夢 122、123、124、127、128、

錢貨年表並貨幣索引 終

昭和五年四月十日印刷　同月十五日發行
編輯兼發行者。發行所、印刷所　愛知縣南設楽郡鳳来村大字杉山字三番戸　今泉忠左衛門　振替名古屋七〇〇番

終